学校番号	１００７

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	和服を知る						
使用教科書	「ファッション造形基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇反物から全て手作業で浴衣の完成をめざしましょう。
・全体指導と個別指導の並行。
・基本の縫い方修得のための運針練習。
・定期的な補講による進度調整。

２　学習の到達目標

・ひとえ長着の各部の名称を覚えながら、手縫いにより浴衣を完成させる。
・基本の縫い方を習得し、作業を合理的に、能率的に行うことができる。
・和服の成り立ちを理解し、簡単な着付けを覚える。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	和服のなりたちに関心を持ち、意欲的に実習に取り組むことができたか。	出来上がりの状態を意識した上で作業にあたり、縫う、裁つなどの作業を行うことができたか。	正しい縫い方を身につけ、進度に遅れずに進めることができたか。	和服のなりたちや各部の名称を理解し、基礎的・基本的な縫い方を身につけている。
評価方法	授業態度 実習記録 自己評価、相互評価等。	授業態度 実習記録 作品の仕上がり 自己評価、相互評価等。	授業態度 実習記録 作品の仕上がり 自己評価、相互評価等。	授業態度 実習記録 作品の仕上がり 自己評価、相互評価等。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	浴衣製作	○全体説明 ○運針練習 ○柄あわせ・裁断 ○背縫い ○肩当て裁断 ○肩当てつけ ○後ろ身頃印付け ○くりこし上げ縫い ○脇縫い	○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	a:一つ一つの作業に意欲的に取り組むことができたか。 b: 仕上がりを意識しながら作業を進めることができたか。 c: 正しい柄合わせ、裁断、印つけ、縫い方ができ、進度に遅れずに進めたか。 d:道具の使い方や、ひとえ長着の各部の名称を理解し、正しい縫い方を身に付けることができたか。	・授業の取り組み姿勢 ・進度 ・縫い方等の正確さ ・記録用紙の記入
2ターム	浴衣製作	○前身頃印付け ○おくみ裁断･印付け ○おくみ付け ○縫い代みみぐけ ○えり下くけ ○すそ三つ折りぐけ		○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○		a:一つ一つの作業に意欲的に取り組むことができたか。 b: 仕上がりを意識しながら作業を進めることができたか。 c: 正しい裁断、印つけ、縫い方ができ、進度に遅れずに進めたか。 d:ひとえ長着の各部の名称を理解し、正しい縫い方を身に付けることができたか。	・授業の取り組み姿勢 ・進度 ・縫い方等の正確さ ・記録用紙の記入
3ターム	浴衣製作	○えり・ともえり裁断・ 印付け ○ともえり縫いつけ ○えりつけ縫い ○えり芯裁断 ○えり芯縫いつけ ○えり幅印付け ○えり先始末 ○えりくけ		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		a:一つ一つの作業に意欲的に取り組むことができたか。 b: 仕上がりを意識しながら作業を進めることができたか。 c: 正しい裁断、印つけ、縫い方ができ、進度に遅れずに進めたか。 d:ひとえ長着の各部の名称を理解し、正しい縫い方を身に付けることができたか。	・授業の取り組み姿勢 ・進度 ・縫い方等の正確さ ・記録用紙の記入
4ターム	浴衣製作	○そで下縫い ○そで印付け ○そで底縫い ○そで口三つ折りくけ ○そでつけ ○そでふりぐけ ○かんぬき留め ○仕上げ ○たたみかた ○着付け		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	a:一つ一つの作業に意欲的に取り組むことができたか。 b: 仕上がりを意識しながら作業を進めることができたか。 c: 正しい裁断、印つけ、縫い方ができ、全体の仕上がりが美しいか。 d:ひとえ長着の各部の名称やたたみ方、着付けを理解し、身に付けることができたか。	・授業の取り組み姿勢 ・進度 ・縫い方等の正確さ ・記録用紙の記入

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。